

# 総務教育常任委員会資料

(平成23年1月21日)

【 件 名 】

- 1 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…………… 1
- 2 県立高等特別支援学校の整備方針（案）について（特別支援教育課）…………… 2
- 3 平成23年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（12月末現在）について  
（高等学校課）…………… 3
- 4 中国製青銅鏡（星雲文（せいうんもん）鏡）の出土について（文化財課）…………… 4

教 育 委 員 会

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

工 事 名	工 事 場 所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	摘 要
<p>【変更分】                      県立日野高等学校体育館・柔剣道場耐震改修他工事（建築）</p>	<p>日野郡日野町 根雨</p>	<p>日南振興株式会社</p>	<p>契約金額                      115,500,000円を                      130,205,250円                      (14,705,250円増                      額)に改める。</p>	<p>平成22年3月29日～                      平成23年1月31日                      (変更前：平成22年                      12月20日まで)</p>	<p>平成22年12月17日                      (第1回変更)</p>	<p>(変更理由)                      主要構造部を調査したところ、構造部材の断面欠損などが相当数あり、部材補強等の追加を行ったため。</p>
<p>県立米子工業高等学校改築工事（建築E工区）</p>	<p>米子市博労町 四丁目</p>	<p>株式会社竹田工務店</p>	<p>151,620,000円                      (変更なし)</p>	<p>平成22年8月18日～                      平成23年2月15日                      (変更前：平成23年                      1月11日まで)</p>	<p>平成23年1月7日                      (第1回変更)</p>	<p>(変更理由)                      岩盤が見つかつたため遅延した建築A・C工区との工程調整に不測の日数を要したため。</p>
<p>県立鳥取中央育英高等学校グランド改修工事</p>	<p>東伯郡北栄町 由良宿</p>	<p>馬野建設株式会社</p>	<p>契約金額                      98,490,000円を                      103,689,600円                      (5,199,600円増                      額)に改める。</p>	<p>平成22年6月4日～                      平成22年12月28日                      (変更なし)</p>	<p>平成22年12月24日                      (第1回変更)</p>	<p>(変更理由)                      全天候舗装走路の既設利用部分に劣化が確認され新設の追加を行ったため。</p>
<p>八頭高校グラウンド改修工事</p>	<p>八頭郡八頭町 久能寺</p>	<p>大和建设株式会社</p>	<p>契約金額                      101,325,000円を                      106,900,500円                      (5,575,500円増                      額)に改める。</p>	<p>平成22年6月18日～                      平成23年1月4日                      (変更なし)</p>	<p>平成22年12月9日                      (第1回変更)</p>	<p>(変更理由)                      鉄棒・ハンマーサークルの移設が困難となり新設の追加等を行ったため。</p>

# 県立高等特別支援学校の整備方針(案)について

平成23年1月21日  
特別支援教育課

県立高等特別支援学校の整備については、「県立高等特別支援学校設置準備委員会」において、これまで5回にわたり保護者代表、学校関係者等から学校規模や設置学科等について意見を聴取してきましたが、これを受けて、このたび県立高等特別支援学校の整備方針(案)を以下のとおり作成しました。

今後、県教育委員会では、2月定例教育委員会において整備方針を決定したいと考えています。

## <県立高等特別支援学校の整備方針(案)>

平成22年2月に決定した大枠の方針に基づき、県立高等特別支援学校設置準備委員会がまとめた「県立高等特別支援学校の設置に関する意見のまとめ」を参考にしながら作成。

※大枠の方針：平成22年2月19日常任委員会報告  
※「県立高等特別支援学校の設置に関する意見のまとめ」：平成22年9月15日常任委員会報告

### 1 設置規模

- 定員は1学年5学級の計120名とする。  
※ 1学級(8名)×5学級×3学年=120名

### 2 設置学科

- 「生産流通科(仮称)」と「サービス産業科(仮称)」の2学科とする。
- それぞれの学科に複数の作業種を設ける。

### 3 設置作業種

- 次の6作業種を設けることとする。
  - ・ 農業系
  - ・ サービス系
  - ・ 食品衛生系
  - ・ ビルメンテナンス系
  - ・ 流通系
  - ・ 事務オフィス系

### 4 寄宿舍

- 自宅通学が困難な生徒のために寄宿舍を設置する。
- 寄宿舍の定員は45名とする。

### 5 給食

- 生徒の昼食は給食とする。

### 6 その他

- 経費節減を図りつつ、多目的に使える空間や、生徒相互の人間関係を育成しやすい場などの教育環境を整備する。

平成23年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（12月末現在）について

平成23年1月21日

高等学校課

厚生労働省の基準による調査

全日制高等学校、定時制高等学校、特別支援学校高等部及び米子北高等学校看護専攻科において、平成23年3月卒業予定者のうち公共職業安定所または学校を通して求職している者のみを対象とした調査。

(1) 求職者の状況

- ・求職者数は1,152人で、前年同期に比べ4.3%、実数で48人の増加。
- ・卒業予定者に占める求職者の割合(就職希望率)は20.4%で、前年同期に比べ0.9ポイントの上昇。

年月	卒業予定者(人)			求職者数(人)			就職希望率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成22年12月末	5,634	2,864	2,770	1,152	655	497	20.4	22.9	17.9
平成21年12月末	5,657	2,874	2,783	1,104	610	494	19.5	21.2	17.8
平成22年3月末	5,634	2,869	2,765	1,015	572	443	18.0	19.9	16.0

- ・県内就職を希望する求職者は895人で、前年同期に比べ4.4%、実数で38人の増加。
- ・求職者全数に占める県内就職を希望する求職者の割合は77.7%で、前年同期に比べ0.1ポイントの上昇。

年月	県内就職を希望する求職者(人)				県内就職希望率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成22年12月末	895	302	172	421	77.7	83.0	77.5	74.4
平成21年12月末	857	321	157	379	77.6	79.3	76.2	76.9
平成22年3月末	785	291	145	349	77.3	79.1	76.3	76.4

(2) 求人状況

- ・県内求人数は799人で、前年同期に比べ14.5%、実数で101人の増加。
- ・県内求人倍率は0.69倍で、前年同期に比べ0.06ポイントの上昇。
- ・県外からの連絡求人は前年同期に比べ12.5%、実数で50人の減少。

【参考】

年月	県内求人数(人)	求人倍率(倍)	県外からの連絡求人(人)	県内就職希望者の求人倍率(倍)	県外就職希望者の求人倍率(倍)
平成22年12月末	799	0.69	349	0.89	1.36
平成21年12月末	698	0.63	399	0.81	1.62
平成22年3月末	848	0.84	401	1.08	1.74

\* 求人倍率は、県内求人数を求職者全数で割ったもの。

県内就職希望者の求人倍率は、県内求人数を県内就職を希望する求職者数で割ったもの。

(3) 就職内定者の状況

- ・就職内定者数は869人で、前年同期に比べ6.2%、実数で51人の増加。
- ・就職内定率は75.4%で、前年同期に比べ1.3ポイントの上昇。

年月	就職内定者数(人)				就職内定率(%)			
	計	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部
平成22年12月末	869	258	182	429	75.4	70.9	82.0	75.8
平成21年12月末	818	277	164	377	74.1	68.4	79.6	76.5
平成22年3月末	985	355	185	445	97.0	96.5	97.4	97.4

- ・県内就職を希望する求職者の就職内定率は71.5%で、前年同期に比べ1.1ポイントの上昇。

年月	県内・県外別、地域別就職内定率(%)											
	計	県内		東部		中部		県外		西部		
平成22年12月末	75.4	71.5	89.1	70.9	68.2	83.9	82.0	77.9	96.0	75.8	71.3	89.0
平成21年12月末	74.1	70.4	87.0	68.4	64.2	84.5	79.6	77.1	87.8	76.5	72.8	88.6
平成22年3月末	97.0	96.2	100.0	96.5	95.5	100.0	97.4	96.6	100.0	97.4	96.6	100.0

【参考】求職者数(県内・県外)の推移

年月	求職者数(人)			求職者の構成比(%)	
	計	県内	県外	県内	県外
平成22年12月末	1,152	895	257	77.7	22.3
平成21年12月末	1,104	857	247	77.6	22.4
平成20年12月末	1,344	1,010	334	75.1	24.9
平成19年12月末	1,340	1,049	291	78.3	21.7

上記のデータは、鳥取労働局職業安定部による

## 中国製青銅鏡（星雲文（せいいうんもん）鏡）の出土について

平成23年1月21日  
文化財課

今年度、実施した青谷上寺地遺跡第12次調査において、中国・前漢時代の鏡である星雲文鏡が出土しました。弥生時代の遺跡で出土したものとしては、本州で初めての発見例です。

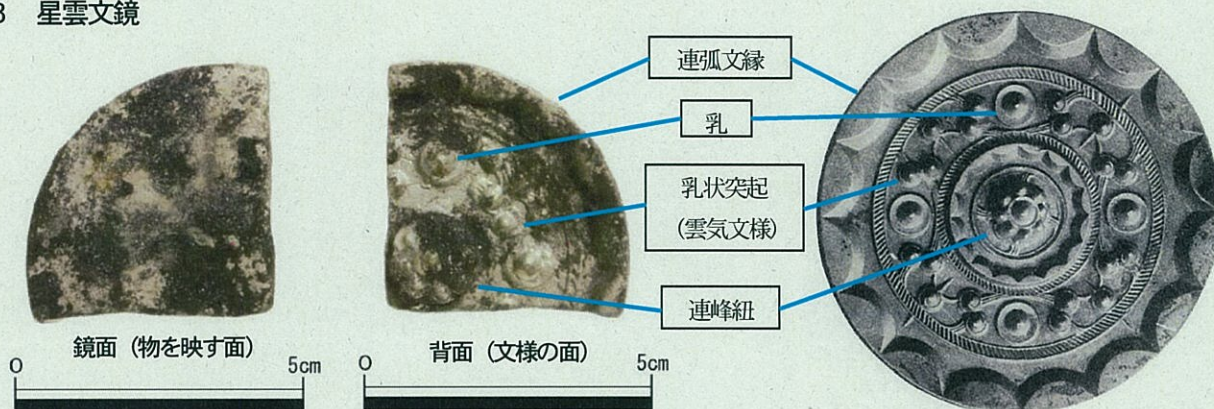
### 1 出土遺跡及び位置

- ・遺跡中心域の南側を区画する溝の埋土中から出土。
- ・星雲文鏡が出土した埋土に含まれる土器により、弥生時代後期後葉から終末期（約1800～1750年前）に廃棄されたと考えられる。

### 2 発見日

平成22年12月7日（火）  
溝の埋土を水洗中に発見

### 3 星雲文鏡



青谷上寺地遺跡第12次調査出土星雲文鏡（復原径6.9cm）

【参考】中国河南省出土の星雲文鏡（径11.0cm）

#### ※星雲文鏡について

- ・前漢（紀元前1世紀前半）に製作された中国製の青銅鏡。
- ・背面に4個の乳（にゅう：円形の突起）を配し、雲が巻き上がる峰を思わせる連峰紐（れんぼうちゅう）と厚い連弧文縁（れんこもんえん）を持つ。数個の乳状突起を曲線でつないだ雲気文様が特徴的である。この文様が星座を連想させることから、星雲文鏡と呼ばれている。
- ・星雲文鏡には大型品と大型品を簡略した小型品がある。
- ・青谷上寺地遺跡出土の星雲文鏡は小型品で、4分の1にされた「破鏡（はきょう：破片となっても大切にされた鏡）」である。

### 4 発見の意義

- ・星雲文鏡は、日本列島ではこれまでに、弥生時代の遺跡から8例が出土。北九州（福岡県）以外で出土したものとしては本州で初めて。
- ・青谷上寺地遺跡で前漢時代の鏡の出土例が3点（星雲文鏡1点、八禽鏡2点）となり、日本海沿岸地域の交易拠点としての青谷上寺地遺跡の位置付けを、さらに高めることになった。

### 5 公開展示

今回の星雲文鏡も含め、青谷上寺地遺跡で出土した青銅鏡を、青谷上寺地遺跡展示館のリニューアルオープンに合わせ、1月15日（土）から1月30日（日）まで、同展示館で特別公開しています。